

研修報告書No. 1 7

所 属：大阪市立池田病院研修医 児玉 紘幸

研修先：四万十市国民健康保険西土佐診療所

このたび市立池田病院より地域医療研修として、2014年11月1日より約1ヶ月間、四万十市江川崎にございます国民健康保険西土佐診療所にて研修を行いました。周囲は緑豊かな山に囲まれ、澄切った四万十川が病院の下を優雅に流れる素晴らしい場所でした。

今回の研修内容としては、外来見学、病棟業務など、普段から経験するような内容はもちろんのこと、週1回開院する出張診療所での診察の見学や、夜間に行われる地区学習会への参加、特別養護老人ホーム、有料老人ホームへの往診の見学、病院周辺の保育園、小学校の定期健診など、普段は経験することができないことも数多く経験させていただきました。また高齢者の訪問リハビリや入院患者の入浴介助も実際に参加させていただき、コメディカルの仕事もこのたび合わせて体験させていただくことができました。

上記のような、さまざまな体験の中で、このような地域医療に関して、いくつか身をもって考えさせられることがございました。まず、このような医療体制、資源が限られた病院においては、医師は自身の専門科に限らず、幼児から高齢者まで、そして全ての診療科に対して、初期診療を行わなければならないことです。そして限られた検査内容から、患者の状態を判断する必要もありました。また、入院病棟はありましたが、あいにく重症管理をすることはできず、重症化することが予想される場合には、あらかじめ転送を考慮する判断など、施設の現状に応じたトリアージの難しさも実感しました。さらに、地区学習会などを通じて、病気への知識を共有、高めることにより、予防医学に努めるなど、周辺地域の住民と一体となった医療を行っていると感じました。

高知県の医療の実情に関しましては、診療所の先生方がおっしゃられておりましたが、高知県内においても、高知市内など、都市部では病院がまだ多くあり、医療体制も比較的整っていると聞きました。しかし、それ以外の地域においては、医療設備、資源が十分に足りていないとお聞きしました。西土佐診療所もなんとか医師、看護師などが確保できている状況でした。さらに西土佐診療所に限らないこととは思いますが、防災意識の高さには驚きました。近い将来、起こると予想される東南海地震では、高知県で大地震、津波が予想されており、模擬トリアージの訓練、そして日々、災害リーダーの設定、災害発生時の動き方の確認など、いつ災害が起こっても、できる限りの対応ができるような体制作りも行っておりました。

このたびは、約1ヶ月間と短い期間ではございましたが、非常に有意義な研修をさせていただくことができました。このような機会を与えていただき、本当にありがとうございました。